



令和2年(2020年)12月18日

長野県の冬キャンプ市場を研究するプロジェクト「Nagano Fuyu Camp Lab.」2021

「県内キャンプ場実態調査」が始動！ 冬期の営業意向が63%



2021Season、始動。

(一社)長野県観光機構は、長野県の観光団体有志と昨年度発足した「Nagano Fuyu Camp Lab. (略称：NFC Lab. (エヌ・エフ・シー ラボ))」にて、「県内キャンプ場営業実態調査」を実施しました。

この調査を踏まえ、今年度も冬のアウトドア事業に参画する施設をさらに増やし、雪に依存しない冬の新たな観光の魅力創出に取り組みます。

【設立背景】

昨今のアウトドアブームによりキャンプ人口は増加し、市場が活気づいている。最近では、冬にもキャンプを楽しむ層も増えてきている。長野県はキャンプ場数が都道府県で3番目に多いキャンプ県である(出典：文部科学省「体育・スポーツ施設現況調査」)が、冬期にはクローズしているキャンプ場が多く、今後大きなチャンスロスを生む可能性がある。

また、暖冬雪不足の影響で集客に苦しむスキー場も多い中、雪に依存しない冬の新たな観光の魅力創出に取り組む必要がある。

2020Seasonのプレスリリース、「冬キャンプ需要調査2020」調査結果はこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000053482.html>

【ミッション】

1. キャンプ場の冬期営業における課題を可視化し、その解決方法を見つけることで、冬期営業できるキャンプ場数を増やす。
2. キャンプブームの中でも埋もれない長野独自の価値を創り発信し、長野県の冬キャンパー人口を増やす。
3. 長野県の広大な自然の、冬の楽しみ方を発信する。

【概要】

◆活動内容

- ・フィールドワークの中で冬キャンプの楽しみ方を実践し発信
- ・将来的な営業意欲のあるキャンプ場への研究員派遣とトライアルフィールドワーク
- ・事業者同士の意見交換の機会創出

◆賛同メンバー（12月18日現在）

一般社団法人長野県観光機構、戸隠キャンプ場（株式会社戸隠）、木曾福島スキー場（株式会社nation）、一般社団法人駒ヶ根観光協会、公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー、佐久市観光協会、一般社団法人木曾おんたけ観光局

※随時募集、追加予定

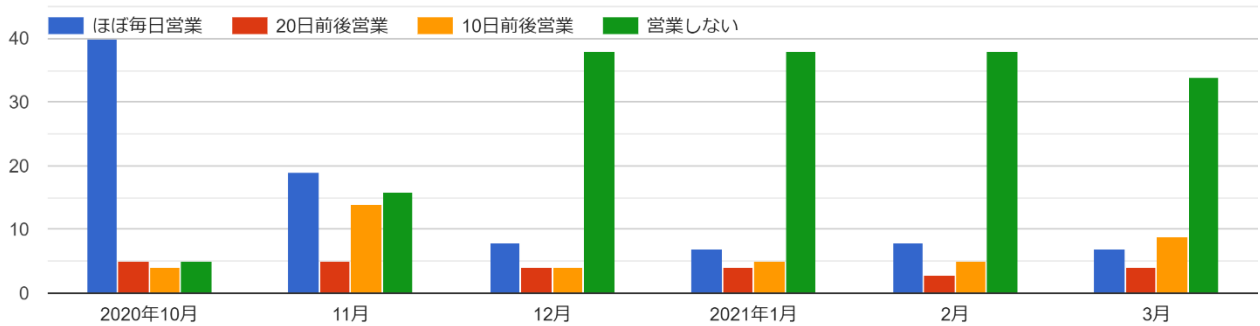
【今後の予定】

賛同メンバーを随時募集し、1月中旬からフィールドワークを開始します。
フィールドワーク実施の前には、都度プレスリリースを行う予定です。

「県内キャンプ場営業実態調査」結果

調査対象施設：160 施設 回答施設数：54 施設

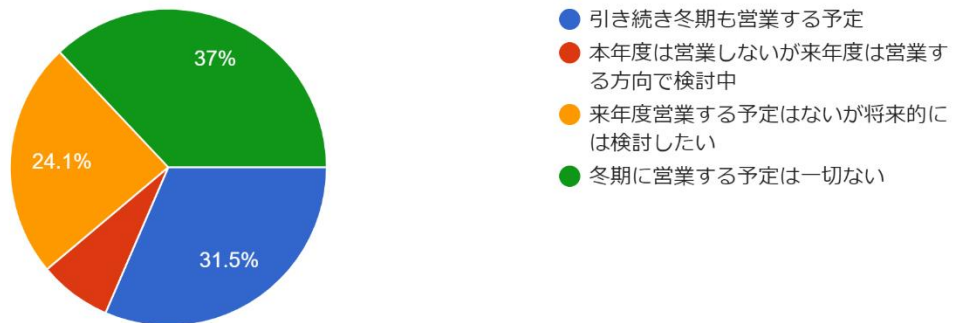
1 貴施設の本年度の営業状況について、お聞かせください。



回答を得られなかった他の施設についてもホームページ等で冬期（12月から3月）の営業状況を確認したところ 15 施設で冬期営業を行っていた。

2 来年度の冬期（12月～3月）営業意向について、お聞かせください。

54 件の回答



冬期の営業を望む施設が多いことがわかった。

【本リリースに関するお問合せ先】

一般社団法人長野県観光機構 エリアプロデュース部
担当：松本翔
TEL:026-217-7205 Mail:matsumoto@nagano-tabi.net

【調査に関するお問合せ先】

一般社団法人長野県観光機構 デジタルマーケティング部
担当：永井優也
TEL:026-234-7200 Mail:dmarketing@nagano-tabi.net

